



情報通

2022. January 1月号

発行：東京税理士会
情報システム部・デジタル化委員会
題字：神津 信一（四谷）
(税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。)

「支部事務局と会員間の連絡方法に関するアンケート」の結果について

デジタル化委員会副委員長 芳賀 保則

1. アンケートの趣旨と結果の公表について

デジタル化委員会では、「政府が推進する行政デジタル化に対応するため、本会会務のデジタル化を推進し、支部業務のデジタル化（本会・支部間のデータ等の連携を含む。）を支援する。」ことを事業計画に掲げております。

そこで今回、支部業務におけるデジタル化の現状を把握するとともに、支部におけるデジタル化に関する意見・要望を確認するため、支部あてにアンケートを実施いたしました。

全48支部より頂いたアンケートの回答については、各支部における共通の課題認識や取り組み事例が含まれており、本会における施策立案に役立つだけでなく、各支部におけるデジタル化のための参考になると判断し、公表することといたしました。

2. アンケートの回答結果について

回答結果一覧は、本会会員専用ページに掲載しました。詳細は下記より参照ください。

《「アンケート結果」の参照方法について》

本会会員専用ページへログイン後、「デジタル化相談室のご案内」より、下記PDFをダウンロードできます。

【本文】支部事務局と会員間の連絡方法に関するアンケート結果について

【別紙】支部事務局と会員間の連絡方法に関するアンケート回答一覧

以下、紙面の都合上、概要を記載いたします。

支部会員に対する通知について

1. 支部事務局では、支部会員に対する研修行事等の案内について、どのような通知手段を用い連絡していますか。税理士法人を含む支部在籍会員数により、各連絡方法を用いる会員数をパーセンテージでお答えください。
メール % ・ FAX % ・ 郵送 % ・ 連絡不要 %
その他の方法（方法を記載）

- 48支部の平均は、メール 48%、FAX 35%、郵送 31%、連絡不要 2%となりました。
- 支部毎に最も高い通知手段を集計すると、メール 23支部、FAX 12支部、郵送 13支部でした。
- 郵送とメール・FAXを状況に応じて使い分けしていると回答した支部が7支部あり、郵送を主の通知手段とした定期便とし、臨時的な通知手段としてメールやFAXを用いているとした支部が3支部ありました。

2. 現在、支部会員専用のホームページをどのように活用しているか教えてください。（行事カレンダーの共有、支部規則集・組織図等の資料閲覧、研修会のレジュメ等の掲載等）

- 3支部を除くほぼ全ての支部で支部会員専用のホームページを作成している旨の回答がありました。
- ホームページの活用方法は支部により、幅がある回答となりました。以下、主な活用方法について回答の多い順に記載します。
①行事予定表（28支部）、②規則集（27支部）、③新着情報（12支部）、④会員、⑤名簿（8支部）、⑥組織図（8支部）、⑦同好会関連（8支部）

3. 支部事務局では、支部会員のメールアドレスをどのように収集（登録・更新管理）をしていますか。

- 会員登録の際や新転入の際に、支部へのメールアドレスの登録依頼の案内を行う支部がほとんどでした。
- 定期的に全会員に対し文書を発信して収集している支部や会報・研修会の案内に申請方法を記載している支部などがありました。

- 一方、役員以外の会員のメールアドレスは収集していない支部が5支部ありました。
- 更新や変更管理については、支部ホームページや定期的なアンケートで連絡を受ける方法をとっている支部もありましたが、メールアドレスの変更に関して自主的な連絡に委ねている支部がほとんどでした。
- メールアドレス自体の管理方法として、会員管理システムやExcel・Access等を活用している支部もありました。

支部役員間の連絡・コミュニケーションについて

4. 支部役員間の連絡手段として活用しているメーリングリストやファイル共有ソフト・SNS・グループウェア等があれば、その名称や運用方法などを含め、具体的に教えてください。

- 役員の連絡手段としては、メーリングリスト、LINEグループの活用が特に多く、目的に応じて様々なSNS・グループウェアを活用している状況でした。
- 情報発信・伝達手段として、メーリングリストをあげた支部が15支部、その他、メール 8支部、FAX 2支部、Slack 1支部でした。
- 特定の担当者間でのコミュニケーション手段として、LINEグループをあげた支部が17支部ありました。その他、Google Group 6支部、ChatWork 2支部、Slack 1支部でした。
- ファイル共有の手段として、DropBoxをあげた支部が5支部、その他、Google Drive 2支部、One Drive 1支部、サイボウズ 1支部でした。
- 日程調整やスケジュール管理の手段として、調整さん1支部、サイボウズ 1支部、Googleカレンダー 1支部、TimeTree 1支部でした。
- WEB会議システムとしてZoomの利用もあげられました。
- 特になし又は無回答とした支部が7支部ありました。

5. 上記以外に、導入を検討しているグループウェア、その他クラウドアプリがあればその理由を教えてください。

- 特になし又は無回答とした支部が40支部でした。
- サイボウズについて検討した支部が2支部ありました。

その他

6. 支部業務のデジタル化（本会・支部間のデータ等の連携を含む。）を進めるにあたり、本会に望むことがあれば、記入してください。

本会に望むこととして集約すると、下記の要望が多くあげられました。

- デジタル化に向けての指針や推奨ハード・ソフト等の提示 6支部
- 連絡方法の効率化 4支部
- 会員へのフォロー 3支部
- 本会提供ホームページ・クラウドアプリの活用・拡充 3支部
- 統一グループウェア、クラウドソフトの導入・活用 2支部

3. 最後に

当委員会では、頂いた回答を今後のデジタル化施策に活かすとともに、支部業務のデジタル化（本会・支部間のデータ等の連携を含む。）を支援していきます。また、「デジタル化相談室」では支部業務のデジタル化の相談についても受け付けておりますので、お気軽にご連絡くださいますようお願いいたします。

《「デジタル化相談室のご案内」について》

本会会員専用ページへログイン後、マイページ内の「デジタル化相談室のご案内」より確認できます。